

ICT（経営者向け）Webセミナー

【開催日時】 令和4年10月20日（木） 10:00～12:00 【参加者】 30人

「ICT（経営者向け）Webセミナー」

【主催】 山口県i-Construction推進連絡会
 【共催】 （一社）日本建設機械施工協会中国支部

令和4年10月20日（木）

10:00～10:05 挨拶

山口河川国道事務所

10:05～10:45 ICT活用工事の推進について

中国地方整備局

10:45～11:15 ICT活用工事導入のメリットについて

中国ICTサポート トップランナー企業
 （株）加藤組

11:15～11:45 ICT活用工事導入のメリットの実例紹介

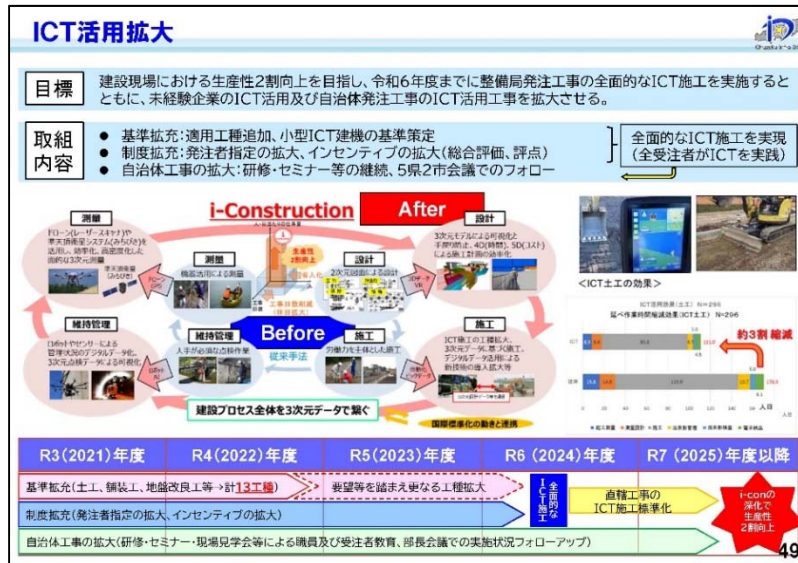
（一社）日本建設機械施工協会

11:45～12:00 質疑応答



建機に接続したタブレットにインプットしたデータを利用して従来の丁張をなくし、スムーズに施工できる。またセミオート(MC)も可能。

中国ICTサポート トップランナー企業（（株）加藤組 加藤代表取締役）
 「ICT活用工事導入のメリットについて」講演



中国地方整備局 「ICT活用工事の推進について」

3次元設計データ作成を内製化するメリット(事例②): 省力化メリット

TS出来形を活用すると、従来の出来形計測に比べ作業の労力を軽減できます。

	従来	TS出来形
計測器機	レベル、テープ	TS
計測人員	2～3名	1～2名
有効性	法面計測の場合 法面、法眼に計測員を1名配置しテープで法長を計測後、レベルで高さ計測 作業員が正しい変化点に計測位置を合わせているか確認が難しい	①法面の測点を計測後、法眼の測点を計測 高さと法長を1台で計測可能 ②計測位置(変化点)を工事管理者本人が確認可能 ③データをソフトウェアにとりこみ自動検算作成可能

TS出来形作業性向上例① ② ③

（一社）日本建設機械施工協会
 「ICT活用工事導入のメリットの実例紹介」